

## FASID BBL

# 「開発課題におけるパートナーシップの構築にむけて～第1回SDGsアワード受賞国際協力NGOからの発信～」



## ザンビア妊産婦・新生児保健ワンストップサービスプロジェクトの取り組みから



ジョイセフ  
船橋 周

2019年2月7日

1

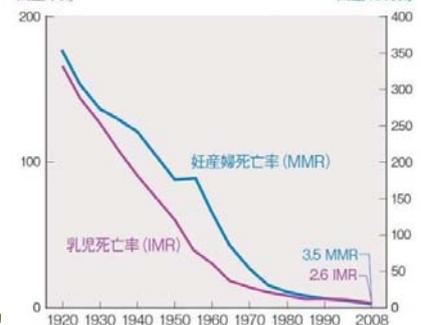
## ジョイセフについて

- ◆ 1968年設立の日本生まれのNGO（創立50周年）
- ◆ 日本の戦後の家族計画・母子保健の経験を途上国へ
- ◆ アジア・アフリカ10か国で実施（延べ33か国）
- ◆ アドボカシーや広報キャンペーン、ファンドレイジングを実施
- ◆ MDGsからSDGs達成へ
- ◆ 第一回「SDGsアワード」特別賞を受賞



乳児死亡率／妊産婦死亡率(日本) 2008年

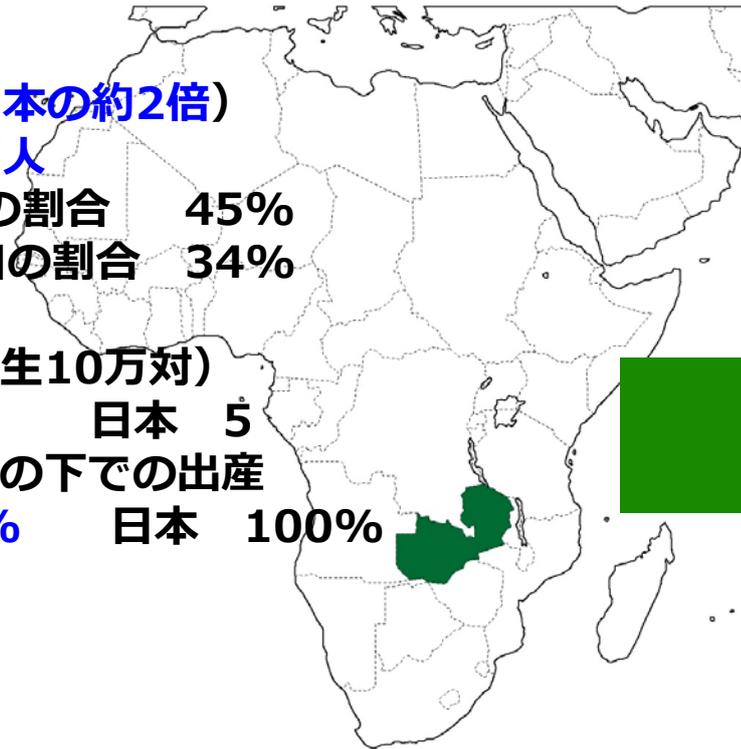
乳児死亡率 (IMR) 出生千対  
妊産婦死亡率 (MMR) 出生10万対



2

## 【ザンビア共和国 概況】

- 面積：  
752,614km<sup>2</sup>（日本の約2倍）
- 人口： **1,710万人**
  - 0-14歳の人口の割合 45%
  - 10-24歳の人口の割合 34%
- 首都 ルサカ
- 妊産婦死亡率（出生10万対）  
ザンビア **224** 日本 5
- 専門技能の立会いの下での出産  
ザンビア **63%** 日本 100%



出典：世界人口白書2017、2016世銀



## 【農村地域の女性がおかれている現状】

- ◆ 電気や水道が未整備
- ◆ クリニックまでの距離
- ◆ 病院・クリニックの不足
- ◆ 保健医療従事者の不足
- ◆ 病院への搬送手段なし

→3つの遅れ



ザンビアの農村地域で展開している

# 『妊産婦・新生児保健ワンストップサービスプロジェクト』

期間：3年間（2014年12月～2017年11月）

対象地区：コッパーベルト州サイティ郡5地区・ムンガウ郡5地区

協力：外務省日本NGO連携無償資金協力



## ワンストップサービスサイト



## 【主な活動内容】

### ① リプロダクティブ・ヘルスサービスの質の向上

- 母子保健棟、マタニティハウス（出産待機ハウス）、ユースセンター、助産師住居の建設、水タンクの設置
- 医療資器材の供与

### ② 人材育成とコミュニティでの健康教育活動

- 助産師、看護師の再研修
- 母子保健推進員（SMAG: Safe Motherhood Action Group）育成
- 若者ピア・エドゥケーターの育成

### ③ 継続ケアのためのコミュニティ連携体制の強化

- 住民保健委員会の活性化
- コミュニティによる活動計画・レビュー会合



## 【リプロダクティブ・ヘルスサービスの質の向上】

住民参加型アプローチ：

マタニティハウス&ユースセンターづくり⇒**参画型** =オーナーシップの強化



住民のペインティングによるマタニティハウス  
安全な妊娠や出産についてのメッセージをアートに

## 【人材育成とコミュニティでの健康教育活動】

300人の保健ボランティアと60人の若者ピアエデュケーターの育成  
月経や妊娠・出産にかかわる啓発教育教材の制作



9

## 【人材育成とコミュニティでの健康教育活動】

保健医療従事者の研修

(クライアントフレンドリーサービス、教材有効活用、モニタリング・データ管理など)



出産計画を一緒に作る  
看護師

10

## 【継続ケアのためのコミュニティ連携体制の強化】

- ◆ 村の保健運営委員会の活性化
- ◆ 健康教育（ヘルスプロモーション）の促進・サポート
- ◆ 持続可能なコミュニティによる活動計画の策定



プロジェクト地区保健運営委員会メンバーと話し合い



キッチンづくり



メイズ粉（ザンビアの主食の原料）の栽培～精粉で収入創出

11

## 【活動成果】

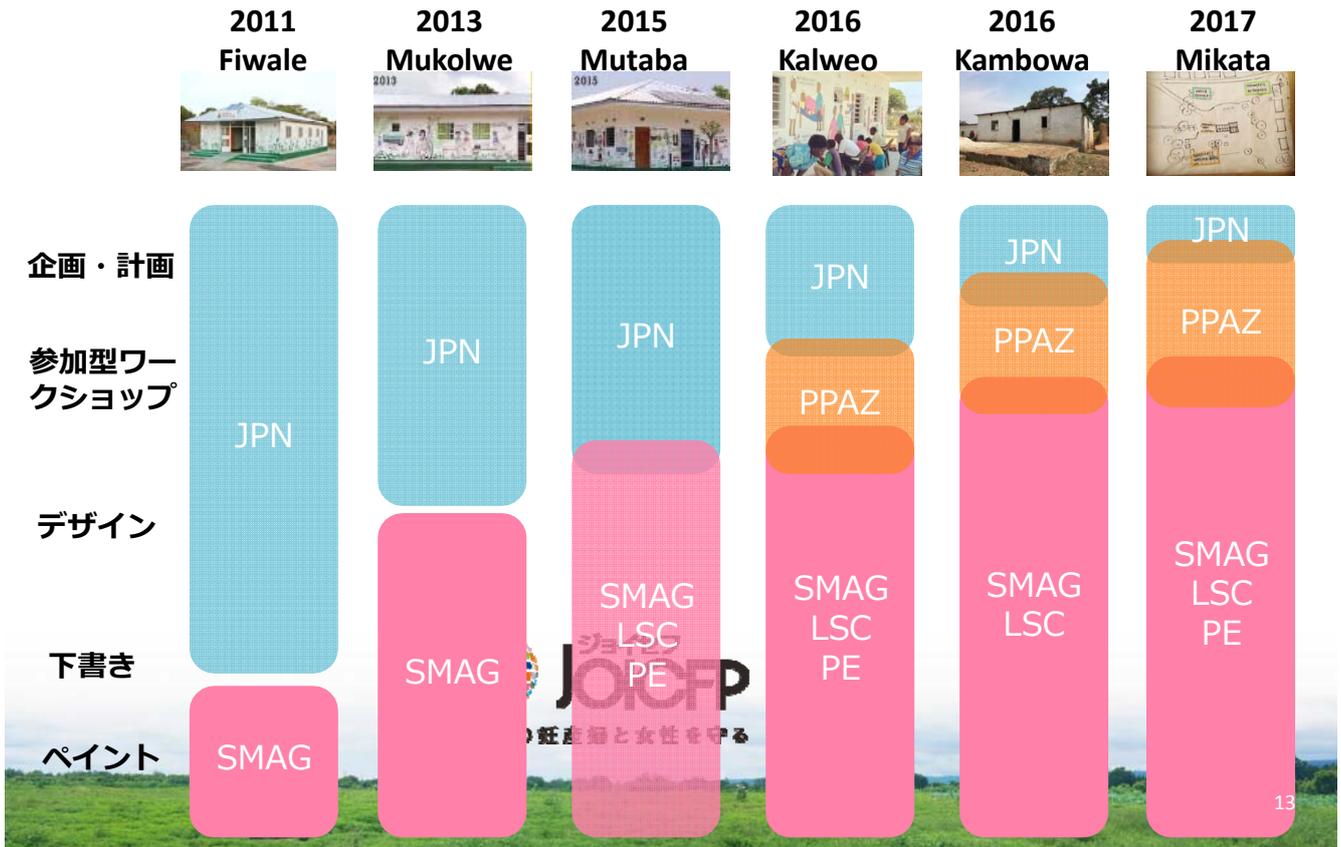
- 保健施設での出産の割合（2014年-2017年）  
37.1%→**52.3%**
- 4回の産前健診（2013年-2017年）  
37.2%→**60.3%**
- 6日以内の産後健診（2013年-2017年）  
30.1%→**52.6%**
- 家族計画新規実行の割合（2013年-2017年）  
13.1%→**18.2%**
- 保健ボランティアと若者エドゥケーターによる啓発活動により、  
情報にアクセスできた人  
→**23万6千人**



12

## 【持続可能性と普遍性】

### マタニティハウス建設における日本からのインプットの変化



## 【波及効果】

- 他の地域において、住民が主体のとなり、既存の施設を再利用してマタニティハウスに改修
- ワンストップサービスサイトが類似案件のモデルとして視察訪問先に
- 地元の看護・助産学生の教育・研修施設としての利用
- 現在、他地域にて、「ワンストップサービスサイトによる生涯を通じた女性の健康づくりプロジェクト」を実施中





## 【パートナーシップ】

# 14の企業・団体による連携協力

- ①安心できる水の確保（水タンクの設置）
- ②灯りの下で出産（ソーラーパネルの設置）

シオノギ製薬

Theory



SOROPTIMIST  
Best for Women



千両屋雜草店



VIRINA  
maternity

SHISEIDO



LUMINE

TERUMO FOUNDATION  
for LIFE SCIENCES and ARTS



## 【パートナーシップ】

# 14の企業・団体による連携協力

- ③人力発電自転車の提供（夜間の照明や妊婦さんの搬送に利用）
- ④人材育成研修の実施

シオノギ製薬

Theory



VIRINA  
maternity

SHISEIDO



LUMINE

TERUMO FOUNDATION  
for LIFE SCIENCES and ARTS



SOROPTIMIST  
Best for Women



千両屋雜草店





## 【パートナーシップ】

# 14の企業・団体による連携協力

- ⑤縫製スキル向上で収入創出活動
- ⑥小規模ビジネス、収入創出活動への技術指導
- ⑦アフリカ4か国へのプロジェクト支援  
(ザンビア、ガーナ、ケニア、タンザニア)

シオノギ製薬

Theory



VIRINA  
maternity

SHISEIDO



LUMINE

TERUMO FOUNDATION  
for LIFE SCIENCES and ARTS



現地の女性起業家と  
ジョイセフエプロン作り  
&オーガニックコットン農園



## 【パートナーシップ】

### 【メリット】 (ジョイセフ)

- ・専門分野ではない取り組みへのチャレンジ
- ・資金・物資のリソース
- ・広報、信頼度向上

### 【企業・団体】

- ・CSR・CSVの一環として
- ・広報、イメージ向上
- ・スタッフのモチベーション向上
- ・技術を活かした支援

### 【課題】

- ・お互いの業種への理解不足（現場の現状の理解も含め）
- ・双方のニーズが一致しないこともある（現場のニーズと企業側のニーズ）
- ・単発的な支援が多いため、持続可能なプロジェクト展開が困難

シオノギ製薬

Theory



VIRINA  
maternity

SHISEIDO



LUMINE

TERUMO FOUNDATION  
for LIFE SCIENCES and ARTS





どうもありがとうございました